

平成 30 年度 施策評価表

施策 (章)	第 4 章『教育・文化・スポーツ』					
まちづくりの目標	教育の充実、文化・スポーツの活性化で 所沢の魅力を高めます					
分野別計画・指針	所沢市教育振興基本計画、第4次所沢市生涯学習推進計画、所沢市いじめ防止基本方針、所沢市図書館ビジョン、第2次所沢市子どもの読書活動推進計画、所沢市文化芸術振興ビジョン、所沢市スポーツ推進計画					
予算額	平成30年度当初予算	100,250	百万円中	11,185	百万円	構成率 11.2 %
基本構想で掲げたまちづくりの目標の実現に向けた主な方針						
◆ 生涯学習の推進						
◆ 地域とともに歩む学校づくり						
◆ 確かな学力と健やかな心身を育む学校教育の充実						
◆ 青少年の健全育成と子ども・若者支援の充実						
◆ 学校施設の耐震化						
基本構想で掲げた《市の課題・方向性》への取り組み状況に対する振り返り						
<p>○市民ニーズを捉えた学習情報の提供や学習事業を実施し、生涯学習環境の充実を図った。</p> <p>○各小・中学校への人的支援については、学力向上支援講師、学習支援員、特別支援教育支援員などを配置し、個に応じた指導の充実を図った。</p> <p>○「学び創造アクティブプラン学力向上推進事業」を推進し、学校・家庭・地域が一体となった取り組みの充実を図った。</p> <p>○施設の安全上適正な管理を図るため、総合運動場内テニスコートの人工芝全面張り替えを実施した。また、所沢航空記念公園多目的運動場の人工芝化に向けて、埼玉県と協議を進め、人工芝の敷設及び防球ネットの設置工事を埼玉県において実施した。</p> <p>○市民に役立つ情報を提供し、知的財産である貴重な資料を次の世代に伝える地域の情報拠点として、機能を十分に発揮できる種類と量の図書館資料・情報の充実に努めた。</p> <p>○防音対策として、狭山ヶ丘中学校の復温・除湿工事を完了し、北中小学校の設計を実施した。</p>						
基本構想で掲げた《まちづくりの目標の実現に向けた主な方針》の実行にあたって、特に力を入れていくこと。						
<p>○生涯学習の推進のため学習環境の整備に努め、郷土に対する愛着心を深めていく。</p> <p>○市立小・中学校、幼稚園において、創意工夫を凝らした教育課程の編成、実施がより一層推進できるよう、特色ある学校・園づくりの充実を図る。</p> <p>○施設の安全上適正な管理を図るため、市民体育館メインアリーナの床改修工事を行う。また、平成31年度から実施する所沢市民体育館及び地区体育館の照明のLED化に向け、事業者選定及び契約締結を行う。</p> <p>○市民に役立つ情報を提供し、知的財産である貴重な資料を次の世代に伝えるため、図書館資料の収集・整備を継続して進める。また、所沢を中心とした地域のあらゆる分野にわたる郷土資料の遡及・網羅的な収集に努め、市民への資料提供に努める。</p> <p>○「学校トイレ改修事業」として小学校4校、中学校2校の工事並びに次年度以降に工事予定校の設計を行うとともに、屋内運動場バスケットゴールの落下防止対策として、小学校で工事を継続して実施するなど学校環境及び安全性の向上のための整備を進める。また、防音校舎改修事業として、北中小学校にて復温・除湿工事を進める。なお、学校における暑さ対策として、当市の学校施設にふさわしい空調設備整備調査を行う。</p>						
評価日	H30.8.10	記入者職氏名	教育総務部次長 師岡 林			

指標の達成状況	節	目標指標	単位	(H25)現状値	H29年度実績	H29年度目標値	H30年度目標値
	第1節 生涯学習	生涯学習推進センター主催事業参加者数	人	13,988	17,164	18,000 18,500	19,000
		生涯学習推進センターの主催事業参加者の満足度	%	90	92	98	100
		生涯学習推進センターの施設利用者数	人	67,865	71,652	95,000	100,000
	第2節 学校教育	授業がわかりやすいと思う児童・生徒の割合	%	90(H26)	90	現状値以上	現状値以上
		教育センター研修会の満足度	%	72	71	75	76
		新体カテストにおける全種目の全国平均を上回る割合	%	51.4	53.5	55.4	56.4
		学校トイレの改修率	%	23	35	32	35
		特色ある私立学校の開校	-	推進(H26)	推進	推進	開校
	第3節 青少年育成	青少年の健全育成に関する施策への認知度	%	38	63.5	47	50
第4節 社会教育	市民等と協働で企画実施した事業の割合	%	53.8	58.8	58.2	59.3	
	図書館の蔵書数	冊・点	892,000	967,022	908,000 956,000	912,000 979,000	
	図書館の資料貸出数	冊・点	1,720,000	1,604,514	1,750,400	1,758,000	
第5節 市民文化	芸術・文化に触れる機会への満足度	%	39.1	44.1	43.1	44.1	
	ふるさと所沢に触れる機会	人	12,076	15,332	15,200	16,000	
第6節 スポーツ振興	スポーツ・レクリエーション施設の利用者数	人	850,700	858,492	867,000 877,000	874,000 878,000	
	スポーツを楽しんでいる市民の割合	%	49.3	47.6	53.3	54.3	

※二段書きになっている目標値は、上段は第5次所沢市総合計画後期基本計画策定時のもので、下段は現在の目標値です。

第1節	生涯学習	いくつになっても気軽に学べ、学んだことを地域に活かせるまち			
基本方針	4-1-1 学習機会の充実				
	4-1-2 市民の学習と学んだことを地域に活かすための支援				
	4-1-3 学習環境の整備・充実				
	4-1-4 学習情報の収集・発信				
	4-1-5 学習資源の蓄積・活用				
関係所属	生涯学習推進センター				
施策に対する市民ニーズ(「平成29年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		654人	29.8%	33位	3位
節の基本方針への取り組み状況					
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○市民活動支援センターと連携し、市役所ロビーで「人材バンクフェア」を開催し、人材バンク制度の周知に努めた。</p> <p>○市民の要望を受け、担当各課と調整し「生涯学習まちづくり出前講座」により市政情報の提供に努めた。</p> <p>◆ 平成29年度の目標指標が未達成の場合、その理由・分析</p> <p>○事業参加者数については、学習効果を考え定員制を設けた学級講座が中心になっているため、参加者数を飛躍的に伸ばすことは難しい。</p>					
今後の方向性					
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <p>○市民への生涯学習の周知を図り、地域をささえる人材育成に繋がる事業を展開していく。</p> <p>○ボランティア人材バンク制度の周知と更なる利用促進を図っていく。</p> <p>○まちづくりセンター・公民館との連携を図り、生涯学習に関する情報収集に努める。また、生涯学習情報紙等を通じて、生涯学習に関する情報を積極的に提供していく。</p> <p>◆ 平成29年度の目標指標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <p>○事業参加者数については、市民の参加しやすい事業形態について検討していきたい。</p> <p>○事業参加者の満足度は、おおむね高い水準にあると考えているが、目標値には、まだ達していないため引き続き事業内容の充実を図っていく。</p> <p>○施設利用者数については、今後も施設の利用方法や周知等についてを検討していきたい。</p>					
特に力を入れる事務事業	学習等講座事業	生涯学習紙発行事業			
評価日	H30.8.10	記入者職氏名	教育総務部次長 師岡 林		

第2節	学校教育	子どもたちが生きる力を身に付け、一人ひとりの良さや可能性を伸ばせるまち			
基本方針	4-2-1 確かな学力と自立する力の育成				
	4-2-2 豊かな心の育成				
	4-2-3 健やかな体の育成				
	4-2-4 地域が信頼する学校づくりの推進				
	4-2-5 学校環境整備の推進				
	4-2-6 地域におけるネットワークの強化				
	4-2-7 教育環境の充実				
関係所属	教育総務課、教育施設課、スポーツ振興課、学校教育課、保健給食課、教育センター				
施策に対する市民ニーズ(「平成29年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		829人	37.7%	22位	1位
節の基本方針への取り組み状況					
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○学校指導訪問や教育センターの事業を通して、新学習指導要領実施に向けた指導や研修・研究を行い、授業改善、教職員の資質向上を図った。</p> <p>○健やか輝き支援室・教育センター教育相談室、教育臨床研究エリア等での相談体制の連携・充実を図り、児童生徒の悩みや不登校等の課題への対応力を高める取り組みを進めた。</p> <p>○教職員負担軽減検討委員会の実施や校務支援システム活用の一層の促進などにより、教職員が子供たちに向き合うことができる時間とゆとりの確保に努め、教育力の向上を図った。</p> <p>○就学援助について、これまで新中学1年生の入学後に支給していた新入学学用品費を、より支給が必要な時期である入学前に支給を開始した。なお入学前支給は、新小学1年生についても平成30年度から開始する予定である。</p> <p>○学校トイレ改修、校舎内木質化改修、防音校舎改修の各事業については、夏休み期間を中心に施工を実施し、授業に支障がないよう進めることができた。</p> <p>○地域のスポーツ関係団体と連携し、所沢市のスポーツ資源や特色を活かした「地域力活用運動好きな子ども育成事業」を実施した。</p> <p>○所沢市立小中学校食物アレルギー対応検討委員会を開催し、専門家の助言のもと、食物アレルギー対応に関する課題の検討を行った。</p> <p>○老朽化した学校給食センターの再整備の手法について調査を行った。</p> <p>◆ 平成29年度の目標指標が未達成の場合、その理由・分析</p> <p>○研修会の満足度は、研修内容について、参加者の期待する内容と実際の研修内容に若干の違いが見られた。</p> <p>○新体力テストにおける全種目の全国平均を上回る割合が目標値に達しなかった理由として、男女とも課題となっている握力やボール投げにおいて、平均を下回ったことがあげられる。特に、中学生男女では、79.2%上回っているのに対し、小学生は、40.6%、男子のみでは、31.3%と数値が低くなっている。また、運動能力に自信がない、自ら進んで取り組んでいないなど運動に対する意欲が低い点も影響していると思われる(全国体力・運動能力、運動習慣等調査による)。</p>					
今後の方向性					
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <p>○「学び創造アクティブプラン学力向上推進事業」において、「子供たちは『できるようになりたい。よりよくなりたい。』と願っている」という子供観に立ち、引き続き学校・家庭・地域が一体となって、より主体的な深い学びを創造していく。</p> <p>○いじめ、不登校などの課題に対応するために、学校に配置している心のふれあい相談員をはじめ、心理士や学校教育相談員による相談活動を充実させていく。また、「いじめ問題対策委員会」との連携を図り、いじめや不登校の未然防止・早期発見・早期対応を進め、児童生徒の健やかな心の育成を図る。</p> <p>○教育用コンピュータ更新、電子黒板の導入等、引き続き情報教育推進に向けた環境の整備を行う。</p> <p>○学校トイレ改修事業を計画的に進めていくとともに、校舎内装木質化事業についても、中央中学校での改修工事を行い、学習環境改善状況を検証し、将来における事業の方向性を検証する。また、学校における暑さ対策として、当市の学校施設にふさわしい空調設備整備調査を行う。</p> <p>○子ども運動能力の二極化が問題視されていることから、運動が得意でない子どもの体力を引き上げることが求められており、休み時間や放課後等に十分外遊びができる環境づくりに努める。</p> <p>○学校給食センター再整備手法調査結果を踏まえ、PFI方式による再整備を進めていく。平成30年度は事業用地を取得する。</p> <p>○子供たちが健康で安全な学校生活を送ることができるよう、食物アレルギー対応に関する課題の改善や支援体制の充実を進める。</p> <p>◆ 平成29年度の目標指標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <p>○研修会の満足度については、アンケートに書かれた意見を基に、次年度の研修計画(研修内容・指導者等)に反映させ、ニーズに応じた研修会を提供していく。</p> <p>○新体力テストについては、子どもの体力向上並びに運動が好きな子どもを育成するため、子どもへの運動機会の提供や家庭・地域・小中学校との連携強化に努める。</p>					
特に力を入れる事務事業	「学び創造アクティブプラン」学力向上推進事業	空調設備整備調査事業	学校給食センター再整備事業		
評価日	H30.8.10	記入者職氏名	教育総務部次長 師岡 林、教育総務担当参事 千葉 裕之 学校教育部次長 戸村 達男、学校教育部保健給食担当参事 池田 隆人		

第3節	青少年育成	若者が自覚と責任を持ち、活躍ができるまち			
基本方針	4-3-1 地域・家庭・学校の連携強化				
	4-3-2 青少年へのサポート体制の整備				
	4-3-3 ニートや引きこもりの子ども・若者への支援の充実				
関係所属	青少年課、学校教育課				
施策に対する市民ニーズ(「平成29年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		727人	33.1%	28位	2位
節の基本方針への取り組み状況					
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○「三つ葉の提言」(改定版)を市ホームページに掲載したほか、QRコードを記載した概要版を作成し街頭啓発キャンペーン等で配布し普及を図った。</p> <p>(「三つ葉の提言」とは、所沢市青少年問題協議会が、家庭・地域・学校がそれぞれの役割を再認識し、連携を深めるために平成17年3月に作成したもので、平成29年1月に社会状況の変化等を踏まえて改定した)</p> <p>○青少年の非行被害防止や健全育成についてキャンペーンを通じて啓発活動を行った。</p> <p>○青少年育成所沢市民会議や関係機関と連携して、青少年の健全育成を図るために「家庭の日」推進事業や所沢郷土かるた大会、スポーツ大会等を開催した。</p> <p>○青少年相談員によるワンパクスクールなど、青少年が自然体験や社会体験を通じて異年齢交流を図る活動を支援した。</p> <p>○「子ども・若者支援ガイド」を市ホームページに掲載し、支援が必要な当事者や家族に対して、関係機関等の情報を提供した。</p> <p>◆ 平成29年度の目標指標が未達成の場合、その理由・分析</p>					
今後の方向性					
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <p>○家庭・地域・学校がそれぞれの役割を再認識し、連携を深め青少年の健全育成を図るため「三つ葉の提言」の普及を図る。</p> <p>○青少年の健全育成を図るため、青少年育成所沢市民会議をはじめとする関係機関と連携し、各種事業を実施する。</p> <p>○悩みを抱える子ども・若者を相談機関につなげていくため、引き続き「子ども・若者支援ガイド」の周知・活用を図る。</p> <p>◆ 平成29年度の目標指標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p>					
特に力を入れる事務事業		青少年健全育成事業			
評価日	H30.8.10	記入者職氏名	こども未来部次長 町田 真治、学校教育部次長 戸村 達男		

第4節	社会教育	地域や市民が主体となり、それぞれの経験を活かし、世代を超えて協働できるまち			
基本方針	4-4-1 家庭・地域の教育力の向上				
	4-4-2 人権教育の推進				
	4-4-3 公民館機能の充実				
	4-4-4 図書館機能の充実				
関係所属	社会教育課、所沢図書館、教育センター				
施策に対する市民ニーズ（「平成29年度所沢市市民意識調査」の結果）		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		611人	27.8%	35位	5位
節の基本方針への取り組み状況					
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○家庭における教育力向上のため家庭教育学級を開設するとともに、青少年の様々な体験活動の充実に取り組んだ。</p> <p>○所沢市人権教育推進協議会との共催で、市民・市職員・学校教員等を対象に、多様な人権問題を取り扱った人権教育講座を開催した。（全12講座・参加者総計762人）</p> <p>○図書館電算システムを再構築し、サーバーのアウトソーシングによる災害時のリスク軽減やセキュリティの強化、安定的なシステム運用とともに、利用者のWebサービスへのアクセス向上を図った。</p> <p>○市民の課題解決に役立つ質の高い資料・情報源を収集するため、49回の検討会議を開催し、様々な分野の資料選定を行った。また、郷土・行政やビジネス、健康など、市民の特に関心の高い分野の充実を図り、更なる情報提供に努めた。</p> <p>○子どもの読書活動推進に向けた連絡会を年3回開催し、学校等関係機関との連携を図りながら、様々な取り組みを実践した。また、子どもの読書活動について、保護者等への普及・啓発に努めた。</p> <p>◆ 平成29年度の目標指標が未達成の場合、その理由・分析</p> <p>○電算システム更新作業に伴い、H30年2月13日～28日まで全館休館だったこと、H30年1月に取次事業を実施しているコンビニエンスストア1店舗が閉店によりサービス終了となったことなどから、図書館の貸出数がH29年度目標値に達しなかったと思われる。</p>					
今後の方向性					
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <p>○人権教育講座のテーマには様々な人権問題について取り上げ啓発に努める。</p> <p>○公民館とまちづくりセンターが一体となり、公民館事業を通じて住民同士のつながりを育み、地域課題の解決を図るとともに、学習環境整備のため公民館施設の適切な運営管理を行う。</p> <p>○市民の課題解決に役立つ質の高い資料・情報源の収集・提供を継続して行い、地域の情報拠点として役立つ図書館機能の充実を図る。</p> <p>○図書館分館の運営状況について、安定した良質な運営が保たれるよう、定期的なモニタリングを継続していく。</p> <p>◆ 平成29年度の目標指標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <p>○図書館の資料貸出数については、コンビニエンスストア図書等取次事業におけるサービス拡大に向け、新たな取次店との契約をめざし、コンビニエンスストア本社等との交渉をすすめる。また、取次業務が可能な施設等の調査研究をすすめる。</p>					
特に力を入れる事務事業		人権教育推進事業		公民館主催事業	
評価日	H30.8.10	記入者職氏名	教育総務部次長 師岡 林、学校教育部次長 戸村 達男		

第5節	市民文化	市民が「ふるさと所沢」への愛着や誇りをもって個性豊かな市民文化を育むまち			
基本方針	4-5-1 個性あふれる文化の創造				
	4-5-2 ふるさと研究を推進するための環境の整備				
	4-5-3 風土に培われた歴史と文化の伝承と発信				
関係所属	文化芸術振興課、文化財保護課、生涯学習推進センター				
施策に対する市民ニーズ（「平成29年度所沢市市民意識調査」の結果）		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		584人	26.6%	36位	6位
節の基本方針への取り組み状況					
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○国指定重要文化財「小野家住宅」の保存修理事業を実施し、茅葺屋根の全面葺き替えを行なうとともに、文化財保存への理解を広めるため工事の様子を2回にわたって一般公開した。</p> <p>○第13回伝統芸能発表会を開催し、市指定無形民俗文化財「重松流祭り囃子」や「岩崎彫獅子舞」等の伝統芸能の普及啓発に努めた。</p> <p>○生涯学習推進センターふるさと研究エリアにおいて、市民学芸員（市民ボランティア）と連携して、収集資料を活用した企画展示や体験学習会を開催した。</p> <p>○所沢市民文化センターについて、指定管理者制度による管理運営を行った（指定管理者：公益財団法人所沢市文化振興事業団）。また、PFI手法を用いて実施する所沢市民文化センター改修事業について、アドバイザー業務委託等を行いながら本事業を実施する民間事業者を選定した。</p> <p>○所沢駅東口市民ギャラリーについては、平成30年4月1日の開館に向け「所沢駅東口市民ギャラリー条例」を制定した。また、指定管理者制度による管理運営を行うための選定活動を行った（指定管理者：公益財団法人所沢市公共施設管理公社）。</p> <p>○文化芸術分野における中長期的な指針となる「文化芸術振興ビジョン」を策定するとともに、附属機関となる「文化芸術推進会議」を設置した。</p> <p>○「音楽のあるまちづくり」の核となる新たな事業として、野外ステージのある「航空記念公園」と所沢市民文化センター「ミュージズ」が隣接して存在するという恵まれた環境を最大限に活かし、クラシックからポップスといった幅広い音楽をレパートリーとして「空飛ぶ音楽祭2017」を開催した。</p> <p>◆ 平成29年度の目標指標が未達成の場合、その理由・分析</p>					
今後の方向性					
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <p>○所沢の地で生まれ、育まれてきた有形・無形の文化財等の保存・活用をはかり、県史跡「滝の城跡」の整備を進めるとともに歴史的建造物の保護と普及啓発に努めます。</p> <p>○市民学芸員等の人材活用により、「ふるさと所沢」への愛着を深めるため、ふるさと研究エリアの企画展示や講座等の充実を図る。</p> <p>○郷土の資（史）料の保存の必要性や意義を市民へ周知するとともに、既存施設を見直しつつ、保存施設の整備に向けた検討を進める。</p> <p>○所沢市民文化センターの適正な管理運営に努めるとともに、平成30年12月開始予定の工事を確実にするため、事業者との調整を行い、併せて大ホール吊り天井の耐震化に係る国の認定を平成30年度内に取得する。</p> <p>○市民の多様な文化芸術活動を支援し、音楽のあるまちづくりの推進や次年度予定されている「フランス航空教育団来日100周年記念イベント」と「市民文化フェア」の合同開催の準備を進め、文化の薫り高い施策を進めていく。また、文化芸術推進会議の中で、ビジョンの進捗状況の検証をしていくとともにビジョンの方向性に沿った新たな文化芸術施策を検討を行っていく。</p> <p>◆ 平成29年度の目標指標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p>					
特に力を入れる事務事業	文化財活用事業				
評価日	H30.8.10	記入者職氏名	市民部次長 鈴木 哲也、教育総務部次長 師岡 林、 教育総務部文化財保護担当参事 木村 立彦		

第6節	スポーツ振興	市民が手軽にスポーツを楽しみ、健康長寿になれるまち			
基本方針	4-6-1 スポーツ施設の整備・充実				
	4-6-2 スポーツ事業の充実				
	4-6-3 スポーツ指導者の充実				
	4-6-4 自主的なスポーツ・レクリエーション活動の支援				
	4-6-5 スポーツを通じた健康づくり				
関係所属	スポーツ振興課				
施策に対する市民ニーズ(「平成29年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		644人	29.3%	34位	4位
節の基本方針への取り組み状況					
<p>◆ 前年度の取り組み状況に対する振り返り</p> <p>○市民ニーズを反映した第2次所沢市スポーツ推進計画の策定に向けて、市民を対象とした無作為抽出によるアンケートを実施した。</p> <p>○利用者の怪我や事故を未然に防ぎ、施設の安全上適正な管理を図るため、総合運動場内テニスコートの人工芝全面張り替えを実施した。</p> <p>○所沢航空記念公園内にある多目的運動場の人工芝化に向けて、埼玉県と協議を進め、埼玉県において、人工芝の敷設及び防球ネットの設置工事を実施した。</p> <p>○平成29年12月3日(日)、メットライフドームにおいて「第28回所沢シティマラソン大会」を開催した。当日の総出走人数は、6,470人。</p> <p>○スポーツ推進委員によるスポーツ指導・普及とともに、親子を中心としたスポーツ教室や市民を対象としたスポーツ大会を開催した。</p> <p>○所沢市民体育館がナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設(ゴールボール)の指定を受けたことにより当該施設の環境整備や関連施設の情報収集および情報発信を行った。</p>					
<p>◆ 平成29年度の目標指標が未達成の場合、その理由・分析</p> <p>○スポーツを楽しんでいる市民の割合が目標値に達しなかった理由として、スポーツをするだけでなく、スポーツ観戦やスポーツボランティアなど様々なスポーツとの関わり方がある中で、十分に情報提供できなかったことが考えられる。</p> <p>○施設の利用者数が目標に達しなかった理由として、総合運動場テニスコートの人工芝全面張り替え工事や小手指地区体育館の空調工事により使用できない期間があったためと考えられる。</p>					
今後の方向性					
<p>◆ 「基本方針」に基づいて今後優先して取り組むべき内容</p> <p>○第2次所沢市スポーツ推進計画の策定向け、作成した素案について、庁内検討会議及び所沢市スポーツ推進審議会において審議を行う。また、広く市民の意見を反映させるため、パブリックコメント手続を行う。</p> <p>○体育施設の整備・充実を図るため、所沢航空記念公園多目的運動場の人工芝化の改修工事について、埼玉県と引き続き調整を進める。</p> <p>○床板剥離による事故を防止し、施設の安全上適正な管理を図るため、市民体育館メインアリーナの床板を全面的に研磨し、塗装を施す改修工事を行う。</p> <p>○現在、所沢市民体育館及び地区体育館の照明として使用している水銀灯をLED化し、照明の照度を上げることで利用者の利便性の向上を図るとともに、CO2排出量の削減及び光熱費等の維持管理費の縮減を図る。なお、平成31年度からの実施を目途とし、本年度は、事業者選定及び契約締結を行う。</p> <p>○シティマラソン大会や市民体力づくり大会等を開催し、スポーツ活動を通じた人のふれあい、まちづくりに寄与する。</p> <p>○所沢市民体育館がナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設(ゴールボール)の指定を受けたことにより、トップアスリートの国際競技力向上に資する選手強化等の活動を効果的・効率的に実施するため、当該施設の環境整備や関連施設の情報収集および情報発信を行う。</p>					
<p>◆ 平成29年度の目標指標が未達成の場合、目標達成に向けて今後実施していく内容</p> <p>○スポーツを楽しんでいる市民の割合が目標値に達しなかったため、スポーツ大会等の情報発信の方法について、広報紙や市ホームページ等の多様な広報媒体を活用して、情報提供を行うとともに、わかりやすい情報の発信に努める。</p>					
特に力を入れる事務事業	スポーツ推進計画策定事業	所沢市民体育館等LED化整備事業	航空記念公園多目的運動場人工芝化事業		
評価日	H30.8.10	記入者職氏名	教育総務部次長 師岡 林		